

媒体名:日本流通産業新聞
掲載日:2007年2月22日
出版社名:日本流通産業新聞社

環境対話研究会

子供の精神的発達 助けるPS摂取を

環境対話キャンプで説明

脳科学を用いた脳改善
アプローチを提唱してい

る環境対話研究会(主宰
II倉敷短期大学・平山論
教授)は、2月16日から
2泊3日で「環境対話キ
ャンプ」を神奈川県三浦
市で行った。

「片付けができない」
「落ち着きがない」「待
てない」などの注意欠陥
多動性障害(ADHD)
や「人に合わせない」
「支配されたくない」
「偏った興味や記憶力が

ある」「自分の世界に入
る」などのアスペルガー
症候群(AS)などの軽
度発達障害児の児童とそ
の親が参加対象で、24組
が参加した。

「熟練スタッフが同症状
を持つ子供たちへの接し
方を実践するなかで、親
がその手法を学び日常生
活で活かせることを目的
とするもの。92年から行
っており、通算24回目と
なる今回は初めて関東で
開催した。

平山教授は親に対して
「接し方」の話をすると
ともに、食生活のなかで
ADHD症状に大豆由来
のリン脂質であるフォス

ファチシルセリン(P
S)が有効であるため、
補足的に摂取することも
勧めている。

PSは、これまで記憶
力低下の改善や抗ストレ
ス、身体疲労の軽減、痴
呆症対策などの機能があ
るとされてきたが、今
後、子供の精神的発達を
助けるサプリメントとし
ても注目されそうだ。

PSの輸入・販売に携
わるカーギルジャパン、
日本シイベルヘグナー、
ビーエイチエヌの3社が
運営するリパミン広報セ
ンター(電03-562
3-9505)が開催を
支援した。